

下水道は必要不可欠

茨大附属中学校 一年 栗原 杏弥

今、世界中でSDGsが注目されている。

その中の六番目の目標「安全な水とトイレを

世界中に」を達成させるための方法の一つと

して、下水道を普及させ利用することを推奨

する。

世界では、九億人が水に困っている。キレ

いな水がないことで、年間一八〇万人の子ど

もが命を落としている。というデータがある。

その原因は、飲料水が汚いことや汚染水が排

水処理されないこと、衛生的なトイレがない

ことなどが挙げられる。その不衛生な環境が

命をおびやかしている。私たちにできること

の中に、川や海をきれいにすると、いうこと

がある。そして、川や海をきれいにするため

は下水道が必要である。なぜなら、下水道を

利用することによって、川や海

の環境を保つことか

で、やるからだと。私



茨城大学教育学部附属中学校

ないため、調べてきた。すると、下水道の役
 割は四つあることか分かった。一つ目は、街
 を清潔にする。下水道が整備されること
 で、汚水が直接街に流れなくなるため、街が清
 潔に保たれ、ハエ・蚊等の害虫や臭いの発生
 も防ぐことができる。二つ目は、街を浸水か
 ら守るということ。市街地の雨をすみやかに
 排除し、私たちが暮らしを守るべく、三
 つ目は、身近な環境を守ること。街や工場か
 ら下水道管を通じて流れ去れたきた汚水は下水
 処理場に運ばれる。そこで、さまざまに処理
 を行い、きれいな水を作った水を消毒して川や海
 に戻す。四つ目は、エネルギー・資源を創る
 ということ。下水処理場では、そこできれいな
 水も再生水として利用したり、下水
 処理の過程で発生したバイオガスも自動車燃
 料や都市ガスとして利用したり、下水汚泥か
 らリンを回収して肥料をつくったりなどして
 いる。というこの四つである。私は今まで、
 使用した水を下水処理場に運び、きれいにし



川や海に流しているだけだと思っ
 ていたが、その役割は、私た
 ちの生活を支えてくれたい
 る必要不可欠であること
 だ。た。つまり、下水道か
 ない、浸水してしまっ
 たり、害虫や悪臭が発生し
 てしまったりする。ところが
 考えられ、さらには、水の
 再利用が。びぎなくなり、
 生活に十分な水を得ること
 が。難しくなっ、てしまっ
 ことや、きたない水のま
 ま川や海に流され、川や海
 がよごれてしまっ、他の生
 物にも悪影響を及ぼすこと
 も考えられ、る。そうなっ、
 てくると、SDGsの十四番
 目の目標「海の豊かさを守
 る」にも影響が出、てきて
 しまっ、自然破壊がさらに
 深刻化してしまっ、と老え
 られる。やはり、下水道は
 必要不可欠だ。では、下
 水道はどのくらい普及して
 いるの。普及率は、日本は
 七九・七パーセント、ほ
 ぼ八割も普及しているが、
 世界には一〇パーセ



ントにも満たない国も少なくないそうだった。このことを知り、私は、はやく世界中の国の下水道の普及率が100パーセントになり、安全な水を使用できるようになった。ほしいと思

た。私は、今まで下水道についてよく知らなかったが、調べてみるととても大きな役割を果たしていることを知り、驚いた。そして、下水道がない生活はどのようなものかを考えて、下水道は私たちの生活に必要不可欠なもので

あるという結論になった。SDGsの目標を達成するためにも、私は、下水道を世界中に普及させ、利用していくことを推奨する。

